

INFORMATION

雑誌名	金沢大学十全医学会雑誌
巻	127
号	2
ページ	79-82
発行年	2018-07
URL	http://hdl.handle.net/2297/00052718

INFORMATION

【期間：30年－31年】

機能解剖学セミナー

日時：平成30年5月16日(水) 17:00～18:00

場所：金沢大学医学類教育棟1階 第二講義室

演題：「脳内軸索-棘シナプス結合の微細構造相関解析とその応用」 深澤有吾先生 福井大学学術研究院 脳形態機能学領域 教授

連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系機能解剖学分野 尾崎紀之 TEL: 076-265-2156 FAX: 076-234-4221

軸索-棘シナプス結合は機能的且つ構造的に高い可塑性を示し、学習・記憶、更には、神経疾患との関連性が高い。従って、このシナプスの形成と機能を支える分子機構の理解が、神経系による情報処理機構や疾患の理解に欠かせない。深澤有吾先生は、この種のシナプス結合の構造情報を収束イオンビーム搭載型走査型電子顕微鏡観察像の定量的解析を通して明らかにすることで「軸索-棘シナプス結合まるごと」の設計図を明らかにし、この設計図を基に各遺伝子産物のシナプス構築における役割を同定することを試みられている。本セミナーでは、これまでの解析結果で得られた軸索-棘シナプスの構築則と、これまでに得られた新たなシナプス構造異常についてご紹介いただき、本手法による遺伝子機能や病態解析への有用性について議論された。

幹細胞生物学セミナー

日時 2018年5月18日(金) 17:30～19:00

場所 医学図書館 十全記念スタジオ

演者 阿形 清和 先生 (学習院大学 生命科学科 教授)

演題 プラナリアやイモリに学ぶ再生原理と再生医療

連絡先 再生分子医学 赤木紀之 <tadayuki@staff.kanazawa-u.ac.jp>

脳神経医学セミナー

タイトル：Investigating circuit-level defects in epileptogenic cortical malformations

講演者：INMED INSERM： Dr. Jean-Bernard Manent

Dr. Manentは大脳皮質の発達異常が原因となるてんかんの病態を研究されている気鋭の若手研究者です。今回、金沢にお越し頂く機会を得ましたので、最新の研究成果をお話し頂きます。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

場所：金沢大学医学図書館2階十全記念スタジオ

日時：2018年5月28日

連絡先：金沢大学 医学系 脳神経医学研究分野・河崎洋志 TEL 076-265-2365, e-mail kawasaki-sec@med.kanazawa-u.ac.jp

第11回MRTプログラム・リトリート

第11回MRTプログラム・リトリートを開催。MRTプログラムとはMedical Research Trainingの頭文字をとったプログラムのことで、明日の医療を開拓する人材(研究医)を育成することをミッションとしている。このプログラムは、医学類の正式科目と並行して、希望する学生が授業の空き時間や夕方以降、休暇期間を利用して、各研究室で行われている研究・ゼミナール・論文講読会等に参加するものである。今回は第11回目のリトリートで今年度としては1回目となる。MRTプログラム参加学生・関連学生、教員スタッフ、興味のある方々に広く開放して日頃の成果や今後の抱負を語りあう会となる。

日時： 2018年6月26日(火)午後6時開始

場所： 金沢大学医学図書館2階 十全記念スタジオ

主催： MRTプログラム実行委員会、MRT担当教員

機能解剖学セミナー

日時：平成30年6月26日（火） 17：00～18：00 場所：金沢大学医学類教育棟1階 第二講義室

演題：「脂質代謝酵素ジアシルグリセロールキナーゼ（DGK）ファミリーの機能～肥満と転写調節～」

後藤 薫 先生 山形大学医学部解剖学第二講座 教授

抄録：脂質は生体膜構成要素であると同時に生命活動のための重要なエネルギー源である。余剰エネルギーは中性脂質（TG）として脂肪細胞に貯蔵され、必要に応じてエネルギー源として利用される。一方、TG合成の中間産物であるジアシルグリセロール（DG）は、PKCなどを活性化する脂質性二次伝達物質としても機能することから、エネルギー代謝系と細胞内情報伝達系の分岐点に位置すると考えられる。DGキナーゼ（DGK）はDGをリン酸化しフォスファチジン酸を産生する酵素であり、哺乳類において10種のアイズイムからなる酵素ファミリーを形成する。各アイズイムは、異なる細胞内局在を示すことから、オルガネラ特異的な機能を果たすと考えられる。

本セミナーでは、これらDGK ϵ とDGK ζ の機能解析について最近の知見を紹介する。

連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系機能解剖学分野 尾崎紀之 TEL：076-265-2156 FAX：076-234-4221

神経分子標的学セミナー

演題：血管の正体 -多能性幹細胞となった血管細胞の特性とその臨床応用の可能性-

演者：松山知弘 先生（兵庫医科大学 名誉教授/先端医学研究所 神経再生研究部門 先進脳治療学 教授）

日時：平成30年6月27日（水） 18：00 - 19：30 場所：金沢大学医学類 第2講義室

問い合わせ先：金沢大学医薬保健研究域医学系 神経解剖学（解剖学第三） 堀 修

Tel: 265-2162, E-mail: osamuh3@staff.kanazawa-u.ac.jp

松山先生は、これまでにマウス脳梗塞後の脳血管ペリサイトがリプログラミングを受けて多能性幹細胞になること、更にそれらが神経細胞、アストロサイト、ミクログリアなど脳内のほとんどの細胞に分化することを報告されました。今回のセミナーでは、傷害脳で特異的に誘導されるこの多能性幹細胞が実際に脳梗塞後の新たな治療標的になり得ることを発表して頂きました。

第65回トキシシンポジウム

テーマ：生物毒素および生理活性物質に関する最新の知見・研究成果を共有する

開催日：平成30年7月11日（水）～7月13日（金） 場所：KKRホテル金沢

内容：32演題 ・哺乳類由来の神経毒の化学生物学研究 北 将樹（名大院生命農・JSTさきがけ）
 ・海洋生物由来新規キヌレニン産生抑制物質の探索 大野 修（工学院大学先進工学部生命化学科）
 ・百日咳起因菌が産生する低分子量物質 渡邊 峰雄（北里大学 北里生命科学研究所医療日生物学研究）
 ・宿主細胞内へ装填されたピロリ菌がん蛋白質CagAの安定性を規定する宿主細胞分子とその制御 津川 仁（慶応義塾大学 医学部 医化学）
 ・Cholixによる細胞致死機構における新規結合タンパク質の同定と昨日解析

八尋錦之助（千葉大学 医学研究院病原細菌制御学） 等

連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系細菌学 TEL：076-265-2200 Fax：076-234-4230 E-mail：ts65@med.kanazawa-u.ac.jp

第37回生命工学トレーニングコース 遺伝子工学基礎技術コース

今回のトレーニングコースでは、「タンパク質の機能解析」を目的とした実習を行います。機能未知のタンパク質の働きを知る上で、相互作用するタンパク質の同定は、非常に重要な情報であり、タグ付きタンパク質を用いたプルダウンアッセイと質量分析を組み合わせることにより、既知のタンパク質と相互作用する未知のタンパク質の正体明らかにすることができます。また、変異タンパク質の構築により、タンパク質の機能ドメインの解析も可能となります。

日時：2018年7月17日（火）9：30～7月20日（金）17：00（予定）* *（全日程参加が原則）

対象：大学、病院、試験研究機関、民間企業の研究者、技術者および大学院生等

内容：実習と講義を組み合わせ、遺伝子発現解析の基本原理解析に対する理解を深める

場所：金沢大学学際科学実験センター 遺伝子研究施設 募集人数：12名

連絡先：学際科学実験センター 遺伝子研究施設（TEL：076-265-2775 E-mail：siorike@staff.kanazawa-u.ac.jp）

北陸実験動物研究会第22回総会・第57回研究会

北陸3県の実験動物研究者、技術者、実験動物取り扱い企業の情報交換の場として、7月21日土曜日の14時30分よりアイソトープ総合研究施設の会議室で表記研究会を開催する。研究会はお二人の先生にご講演いただく。

特別講演1：「神経系EVs（エクソソーム）を介した神経—グリア細胞間情報伝達」

金沢大学医学系免疫学 助教 河原 裕憲 先生

特別講演2：「RNA編集機構およびPI3K/AKT経路の変容に伴う脳機能障害誘導メカニズム」

福井大学ライフサイエンス支援センター 生物資源部門 准教授 徳永 暁憲 先生

関東研究医養成コンソーシアム 第9回夏のリトリート

医学に関する学術講演を主体とするもので、東京大学、千葉大学、群馬大学、山梨大学、横浜市立大学、順天堂大学、東北大学、北海道大学、金沢大学の9大学の医学部医学科の学生が行った医学の研究成果を発表することを目的とする学生交流会（リトリート）である。医学研究に興味を持つ他大学の学生と交流することで、将来の研究医ネットワーク構築のための基盤作りともなり得る。毎年夏にリトリートを開催しており、既に過去8年の歴史がある。今回初めて、金沢大学が主管校として開催することから、金沢大学からも多くの参加がある。学類学生、大学院生、研究者・教員スタッフ、そして広く興味のある方々が対象となる。

日時：2018年8月16日（木）～17日（金）

場所：金沢商工会議所

主催：金沢大学医学類MRTプログラム（代理：血管分子生物学分野・山本靖彦）

組織細胞学セミナー

演者：諸石 寿朗 先生（熊本大学大学院生命科学研究部・准教授） 「Hippo経路によるがん免疫の制御機構」

日時：2018年8月23日（木）18：00～19：00

場所：医学類F棟1階 修士課程セミナー室

世話人：医・組織細胞学 西山 正章（内線2150）

近年、Hippoシグナル伝達系は正常な細胞のがん化をふせぐシグナル伝達系として注目されており、Hippoシグナル伝達系の異常は発がんに寄与すると信じられてきました。ところが諸石博士らは、がん細胞においてHippoシグナル伝達系の異常は宿主の腫瘍免疫を活性化し、むしろ腫瘍進展を防ぐことを発見しました。これは従来の概念とは全く異なるパラダイムシフトであり、そのメカニズムがエクソソームの分泌亢進とTLR-Type I IFN系によることを諸石博士は明らかにしています。がん免疫だけでなく、再生医療等にもHippo経路の関与が広く注目されています。このように最近流行のHippo経路やがん免疫の最前線を知るにはもってこいの機会です。皆様奮ってご参加下さい。

幹細胞生物学セミナー

日時 2018年10月12日（金） 17:30～19:00

場所 医学図書館 十全記念スタジオ

演者 武部 貴則 先生（東京医科歯科大学 統合研究機構 教授）

演題 次世代オルガノイド研究の展望 -The era of Organoid Medicine-

要旨 多能性幹細胞（ES, iPS細胞）や、生検サンプルを活用したプライマリ細胞などを活用し、ヒト器官に類似した組織体を生み出すオルガノイド（Organoid）研究が隆盛を極めている。本講演では、ヒト肝臓を対象としたオルガノイド研究を主な事例として、「どう創るか？」から「どう使うか？」へと力点が移りつつ有る第4世代のオルガノイド研究（Organoid4.0）が指向する未来を考察したい。即ち、ゲノム編集、1細胞解析、物理解析、4Dイメージング技術、オンチップ解析など、異分野における革新技術を統合することによる臨床医学への実質的還元を目指す新潮流、オルガノイド医学（Organoid Medicine）研究の最前線を紹介する。

連絡先 再生分子医学 赤木紀之 <tadayuki@staff.kanazawa-u.ac.jp>

第5回筋ジストロフィー医療研究会

開催日：2018年10月26日（金）～10月27日（土）

会場：石川県文教会館

大会長：駒井清暢

学術集会事務局：独立行政法人国立病院機構医王病院

TEL: 076-258-1180

E-mail: kinzisuiryou5@ioudom.hosp.go.jp

URL: <http://pmdmr.umin.jp/>

内容：本研究会では、「つなぐ筋ジストロフィー医療」をテーマとして、本領域の研究や診療の進歩を学び、さらなる発展をめざして討論を行います。

特別講演：「今日の筋ジストロフィー医療」（東京大学名誉教授 石浦章一先生）

川井充メモリアルレクチャー：「わたしと筋ジストロフィーとの関わり」（箱根病院名誉院長 石原傳幸先生）

教育講演：「炎症性筋疾患」（山口大学教授 神田隆先生）

シンポジウム1：「リハビリテーションにおけるTransition」

シンポジウム2：「多職種でつなぐ患者・家族の意思決定支援」

シンポジウム3：「基礎と臨床をつなぐTransition」

シンポジウム4：「小児科から成人へのTransition」

メディカルスタッフ立案企画シンポジウム：「療養生活におけるボランティアの存在」

第30回日本医学会総会 2019中部

医学と医療の深化と広がり～健康長寿社会の実現をめざして～

◆分科会応援早割 締切迫る！！(事前参加登録)◆ (対象：医師・歯科医師・研究者)：2018年10月31日（水）正午まで

会頭：齋藤 英彦（名古屋大学名誉教授）

顧問：中村 裕之（金沢大学医薬保健学域・研究域長）

テーマ：医学と医療の深化と広がり ～健康長寿社会の実現をめざして～

会期・会場：学術集会2019年4月27日（土）～4月29日（月・祝）／名古屋国際会議場、名古屋学院大学白鳥学舎、ウイंकあいち

学術展示2019年4月26日（金）～4月29日（月・祝）／名古屋国際会議場、ポートメッセなごや

市民展示2019年3月30日（土）～4月7日（日）／ポートメッセなごや

医学史展2019年3月2日（土）～4月28日（日）／名古屋大学博物館

公式WEB：<http://isoukai2019.jp/>

連絡先：学術準備室（株式会社コングレ）

TEL：052-744-2037

FAX：052-744-2038

E-mail: isoukai2019@congre.co.jp

第35回石川県臨床細胞学会学術集会

日時：平成31年1月27日（土） 11:00～17:00

場所：金沢大学附属病院 宝ホール

このたび第35回石川県臨床細胞学会学術集会を開催することになりました。本学会は石川県臨床細胞学会に所属する医師および細胞検査士の技術向上のため、各病院から症例を持ち寄り、検討しながらより良い診断と治療のために開催するものです。北陸地区外の専門家による特別講演を行っており、石川県における細胞・病理診断および研究のさらなる発展に貢献するものと確信いたしております。

特別講演：齋尾征直 先生 群馬大学大学院保健学研究科 生体情報検査科学 教授

樋野興夫 先生 順天堂大学 医学部（病理・腫瘍学）/国際教養学部 教授（併任）

連絡先：原田 憲一 金沢大学医薬保健研究域医学系 人体病理学

TEL 076-265-2195 FAX 076-234-4229

第22回日本病理学会中部支部スライドセミナー

日時：平成31年3月9日（土）10:00～17:00

場所：金沢大学附属病院 宝ホール

このたび第22回日本病理学会中部支部スライドセミナーを開催することになりました。本学会は日本病理学会中部支部に所属する病理医の技術向上のため、各病院から症例を持ち寄り、検討しながらより良い診断と治療のために開催するものです。中部地区外の専門家による特別講演を行っており、病理診断および研究のさらなる発展に貢献するものと確信いたしております。

特別講演：常山幸一 先生 徳島大学大学院医歯薬学研究部疾患病理学分野 教授

筒井朱美 先生 香川県立中央病院 肝臓内科 部長

伊倉義弘 先生 社会医療法人愛仁会高槻病院 病理診断科 主任部長

連絡先：原田 憲一 金沢大学医薬保健研究域医学系 人体病理学

TEL 076-265-2195 FAX 076-234-4229

CONTENTS

Takumi Taniguchi :	There is no grief if it is prepared	35
[Reviews]		
Norio Yamamoto :	Current status and future measures for osteoporosis	36
Masaaki Nishiyama :	CHD8 haploinsufficiency results in autistic-like phenotypes in mice	41
Yoshitaka Zaimoku :	Identification of an HLA class I allele closely involved in the auto-antigen presentation in acquired aplastic anemia	43
Hayato Muranaka :	A distinct function of the retinoblastoma protein in the control of lipid composition identified by lipidomic profiling	47
Masaya Shimojima :	Emerin plays a crucial role in nuclear invagination and in the nuclear calcium transient.	49
Tohru Takahashi :	Generation and optogenetic characterization of mice in which QRFP-containing neurons selectively express Cre recombinase	51
Yuya Asano, Kazuhiro Ishimaru, Yoh Takuwa :	Exacerbation of pulmonary fibrosis in mice with macrophage-specific deletion of sphingosine-1-phosphate receptor 2	53
Tadayuki Akagi :	2018 MD Scientist Training Consortium of Kanto, The 9th Summer Retreat	55

複写をご希望の方へ
金沢大学十全医学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。

本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。但し、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です)。

権利委託先 一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F
FAX : 03-3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作権の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致していません。直接、金沢大学十全医学会へお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 金沢大学十全医学会
TEL : 076-265-2131 FAX : 076-234-4208
E-mail : kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学十全医学会編集委員

土屋弘行(委員長), 赤木紀之, 市村 宏, 絹谷清剛,
高橋智聡, 中田光俊, 吉村健一

平成30年7月発行
(日本出版協会会員番号 B111010)

編集者・発行者 土屋弘行
発行所 金沢大学十全医学会
〒920-8640
石川県金沢市宝町13-1
TEL:(076)265-2131 FAX:(076)234-4208